

千葉県新産植物ヒナワチガイソウの分布と生育環境

善養寺聡彦¹⁾・天野 誠²⁾

¹⁾ 千葉市立千葉高校

〒263 千葉市稲毛区小仲台 9-46-1

²⁾ 千葉県立中央博物館

〒260 千葉市中央区青葉町 955-2

要 旨 千葉県では、今まで未記録であったヒナワチガイソウ (*Pseudostellaria heterantha* (Maxim.) Pax var. *linearifolia* (Takeda) Nemoto) を千葉市若葉区野呂町において確認したので、生育状況を含めて報告した。関東地区の主要研究機関所蔵のワチガイソウ及びヒナワチガイソウの分布を調べた結果、ワチガイソウは主に関東地方においては、奥多摩と日光周辺に分布し、ヒナワチガイソウは、関東地方の丘陵にわずかに分布していることが明らかになった。千葉県におけるヒナワチガイソウの分布は、隔離的・遺存的なものと考えられる。

キーワード: ヒナワチガイソウ, 千葉県新産, 遺存分布.

鈴木・萱野(1986)によれば, *Pseudostellaria heterantha* (Maxim.) Pax var. *linearifolia* (Takeda) Nemoto (ヒナワチガイソウ) は、東京都清瀬市、茨城県筑波山、茨城県常北町など関東地方だけに分布している。本種は、今まで千葉県では未記録であったが、千葉市若葉区野呂町において確認したので報告する。

生育環境

野呂町には洪積台地に谷津が切れ込む典型的な北総台地の地形が見られる。今回、著者の一人善養寺が、ヒナワチガイソウを確認した場所は、谷津田の上流にある池の斜面林である。斜面は北西向きで、夕日が当たる。高木層はほとんどがクヌギで、コナラが少し混ざっている。低木は少なく、4月の段階では日がよく当たって明るい。今の所、ヒナワチガイソウの生育が確認できた場所は1ヶ所だけで、山林内の道に沿って30 mほどの区間で、10 mほどの幅の中に限られている。林床は土壌が発達し落葉も厚く積もっていて、ヒナワチガイソウは落葉に支えられるようにして立っている。3月下旬から開花し、4月の中旬には開花は終わるが、その後には下部の開鎖花が残る。5月以降は、他の植物が育ってヒナワチガイソウを被ってしまう。この林床には、ヤブレガサ、カタクリ、ナツトウダイ、ヤマホトトギス、アケビ、ニリンソウ、ワニグチソウ、ナルコユリ、カントウマムシグサ、ウラシマソウ、ヒトリシズカなどが生育している。採集した標本(標本番号 CBM-BS-77692: 千葉市若葉区野呂町; 1993年5月11日, 善養寺聡彦, CBM-BS-77693: 千葉市若葉区野呂町, 1993年4月4日, 善養寺聡彦)は、千葉県立中央博物館に納めた(図1)。

分 布

東京大学総合研究資料館(TI)、国立科学博物館(TNS)、牧野標本館(MAK)に所蔵されている標本を見ると葉形の面からみて、ヒナワチガイソウに相当する個体が、高知県吾川郡名野川、京都府愛宕山、山梨県金峰山、埼玉県秩父、静岡県聖岳聖沢で採集されていることが明らかになった。今後、関東山地及び西日本に点々と分布している葉の細いワチガイソウが、ヒナワチガイソウであるかどうか集団解析を行いつつ、調べる必要があると思われる。関東地方のワチガイソウの分布地図を見るとワチガイソウとヒナワチガイソウの分布地域は、異なっている(図2)。ワチガイソウの地理的分布は、奥多摩を中心とした関東山地と日光山地の比較的標高の高い地点に限られている。一方、ヒナワチガイソウの分布は、檜山(1951)により独立種ムサシワチガイソウとされた産地も含めて、比較的標高の低い所に遺存的に分布している(MAK12503, 高尾山, 牧野富太郎; MAK12547, 秩父, Apr. 9., 牧野富太郎; 東京都清瀬市柳瀬川, 1986. Apr. 13, S. Okuyama, TI; 東京都北多摩郡清瀬町中里, 1966. Mar. 27, S. Okuyama, TI; 筑波山, 1924. May. 4, M. Honda, TI; TNS26129, 筑波山, 1904. May. 5, 鶴町猷; TNS222227, 筑波山, 1931. May. 5, 大井次三郎)。今回、発見された産地は、他の産地から相当離れている。今後、千葉県北部を精査することによって、新産地が発見される可能性があるが、稀な植物でもあり、保護に万全を期す必要があると思われる。

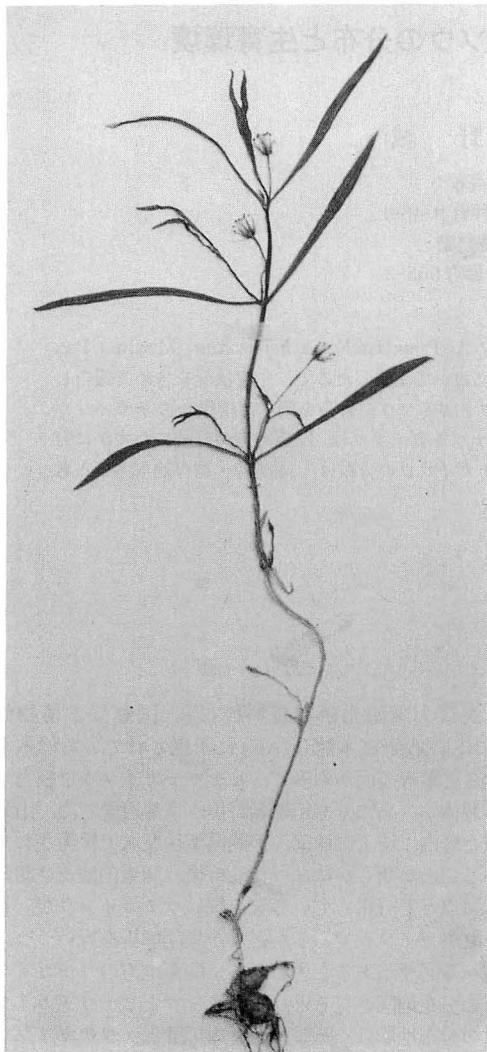


図1. 千葉県ヒナワチガイソウ (CBM-BS-77693)

引用文献

- 鈴木昌友・萱野千寿. 1986. ワチガイソウの再検討. 植物研究雑誌 61: 148-156.
 檜山庫三. 1951. 新種ムサシワチガイソウ. 植物研究雑誌 26: 287-288.

(1994年10月13日受理)

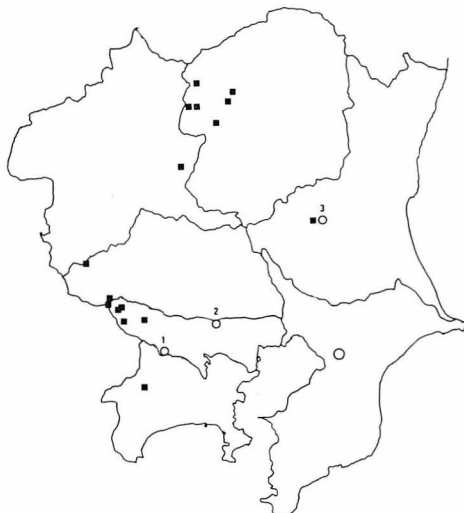


図2. 関東地方におけるワチガイソウとヒナワチガイソウの分布.

四角がワチガイソウ, 丸がヒナワチガイソウの分布を示す. 大きな丸が今回の新産地である. 番号は, ヒナワチガイソウの産地を表わす (1: 高尾山, 2: 清瀬市柳川, 3: 筑波山).

A New Locality of *Pseudostellaria heterantha* (Maxim.) Pax var. *linearifolia* (Takeda) Nemoto in Chiba Prefecture

Satohiko Zen-yoji¹⁾ and Makoto Amano²⁾

¹⁾ Chiba High School

Konakadai 9-46-1, Inage, Chiba 263, Japan

²⁾ Natural History Museum and Institutes, Chiba
 955-2 Aoba-cho, Chuo-ku, Chiba 260, Japan

A new locality of *Pseudostellaria heterantha* (Maxim.) Pax var. *linearifolia* (Takeda) Nemoto has been found in Chiba city. This is the first report for Chiba Prefecture. Var. *linearifolia* is a rare plant, being found in only a few localities in the Kato District, and seems to be a relic.